

平成 28 年度 京都市自殺総合対策主管課の取組

京都市こころの健康増進センター

※右の数字は「きょう いのち ほっとプラン」の取組番号

1 普及啓発・教育・地域づくり（事前予防 prevention）

①普及啓発

1	【新規】「ライフ in 灯（ライト）きょうと 2016」（9月9日） こころのカフェきょうと・京都自死自殺相談センター・京都府と共催で、 市役所前広場にて最大 500 個のキャンドルを点灯	【1-1】
2	こころの健康講座「男がつらいよ～絶望の時代の希望の男性学～」 武蔵大学 田中俊之氏（9月2日 参加者 99名）	【1-1】
3	思春期・青年期のこころの健康について考える講演会（2月15日 参加者 74名）	【1-1】
4	アルコールと健康を考えるフォーラム（11月13日 参加者 120名）	【1-1】 【1-5】
5	電子媒体による情報発信 ホームページ、フェイスブック、行政情報放映用モニター等による啓発 【新規】自殺予防啓発動画を行政情報放映用モニターにて放映 （特に9月3月は集中的に放映） 【新規】ストレスマウンテン京都市版の製作	【1-1】 【1-2】 【1-3】
6	若者の薬物問題について考える講演会 「今、知っておきたい大麻～薬物依存のリスクと治療・回復～」 洛南病院 川畑俊貴氏（12月1日 参加者 80名）	【1-1】 【1-13】
7	きょう いのち ほっとブック事業（9月）市内 13 図書館にて実施	【1-3】
8	市役所前パネル展の開催（9月5日～16日）	【1-3】
9	【新規】トラフィカ京カードによる普及啓発（9月）1万枚作成	【1-2】 【1-3】
10	各区こころのふれあいネットワーク事業による自殺予防についての啓発	【1-8】
11	アルコール・薬物依存症者対策の推進 講演会・研修会の実施（再掲）、自助グループの支援	【1-5】 【2-21】

②人材育成・教育

1	地域での身近な相談者（社会福祉施設・団体職員、民生児童委員、保育士、地域 包括支援センター職員等を予定）への研修の実施 新規保育士研修（6月27日 参加者 29名） 親と子のこころの相談電話相談員養成講座（9月9日 参加者 16名） 北区居宅支援事業者研修会（9月16日 参加者 52名） こども若者サポートセンター（11月15日 参加者 17名） 京都生協福祉事業部研修会（12月13日 参加者 24名） 京都府警察（2月20日 参加者 43名） 京都市消防学校（2月27日 参加者 24名）	【2-1】 【2-2】 【2-3】 【2-4】
---	---	----------------------------------

2	市民を対象としたゲートキーパー養成研修会 健康づくりサポーター対象「“こころ”を動かそう」 ①11月21日 参加者70名 ②12月5日 参加者72名	【2-1】
3	市職員を対象とした研修会 新規採用保健師研修（4月12日 参加者18名） 新規採用職員研修（4月14日 参加者350名） 新任精神保健福祉相談員研修（6月29日 参加者5名） 新任部長研修（6月15日 参加者33名） 南福祉事務所研修（12月2日、12月21日 参加者 合計62名）	【2-1】 【2-2】 【4-10】
4	大学生を対象とした研修会 【新規】いのちのリレー講座 14コマ目「ゲートキーパー入門」 波床所長講義（12月8日 参加者5名） 学生団体SMILEへの研修（3月17日）	【2-1】

③関係機関連携

1	京都市自殺総合対策連絡会の開催 市民・地域・教育機関・企業・マスメディア・司法関係・有識者・ 京都市等 約30団体で構成	【2-4】
2	京都市自殺総合対策庁内推進会議の開催 行財政局・総合企画局・文化市民局・産業観光局・保健福祉局・消防局・ 交通局・教育委員会・市立病院・などで構成	【2-4】
3	京のいのち支え隊への参加：府内保健所・相談機関（11機関）他	【2-4】

2 相談支援・スクリーニング・リスクアセスメント (危機対応 intervention)

1	自死遺族・自殺予防こころの相談電話（きょう・こころ・ほっとでんわ）」 の運営 開設時間：月・火9時～12時、木13時～16時 ※1月末まで 193件（自死遺族20件、自殺予防103件、その他70件）	【3-8】
2	「きょう ほっと あした～くらしとこころの総合相談会～」の開催 定例相談毎月1回、土曜相談年間3回 【充実】3月25日の土曜相談を京都大学で開催 ※1月末まで 相談 実件数191件、延件数289件	【2-6】 【3-1】 【5-1】
3	相談員に対する研修会 ①こころの健康講座「男がつらいよ～絶望の時代の希望の男性学～」 9月2日 武蔵大学 田中俊之氏 ②3月15日「アルコール依存症について」	【2-2】
4	メール相談事業（補助）京都自死・自殺相談センターsottoが実施 ※1月末まで 総受信件数1,100件	【4-7】
5	「かかりつけ医・産業医うつ病対応力向上研修会」の実施 （10月20日 参加者42名）	【2-18】
6	一般科医・精神科医ネットワーク交流会（G-Pネット）」の実施 「医療機関で取り組む自殺対策～残された遺族・支援者へのケアを考える～」 （3月16日）	【2-18】

7	医療機関と連携した自殺未遂者・ハイリスク者支援 日本精神科看護師研修会（7月4日 参加者80名） 京都府看護協会（10月27日 参加者22名） 醍醐消防署研修（12月16日 参加者26名） 「医療機関で取り組む自殺対策～残された遺族・支援者へのケアを考える～」 （3月16日）（再掲）	【3-6】 【3-7】
8	京都府「自殺ストップセンター」との連携による相談支援 事例検討会への参加（毎月1回）	【2-4】

3 遺族支援（事後対応 postvention）

1	①「自死遺族・自殺予防こころの相談電話（きょう・こころ・ほっとでんわ）」 の運営（再掲） ②自死遺族の面接相談	【3-1】 【3-8】
2	こころのカフェきょうと（自死遺族サポートチーム）への支援 例会（分かち合いの会）の案内 こころのカフェきょうと「フリースペース」への支援	【3-3】
3	「医療機関で取り組む自殺対策～残された遺族・支援者へのケアを考える～」 （再掲）	【3-2】 【3-6】